

# 栄養学

年次	学期	学則科目責任者
3年次	後学期	吉垣 純子 (生理学)

学修目標 (GIO) と単位数	GIO: 歯科病院では小児および高齢者が多く診療を受けており、その栄養指導や摂食指導が必要とされている。また近年では、高血圧、糖尿病などのメタボリックシンドロームの患者が増加しており、歯科治療においても栄養管理が必要となる場面が増加している。人体における栄養素の役割を理解し、口腔および全身の健康を維持・増進するための食生活および歯科治療に関わる栄養管理を説明できることを目標とする。 単位数: 1
担当教員	平塚 浩一、パワー ウジャール、吉垣 純子、清水 武彦、清水 邦彦、葛西 一貴、野本 たかと、河相 安彦、郡司 敦子、牧山 康秀、伊藤 耕、坂巻 達夫、小方 頼昌、高橋 康輔
教科書	スタンダード生化学・口腔生化学 (第2版) 安孫子宜光 他 学建書院 ビジュアル生理学・口腔生理学 (第3版) 和泉博之 他 学建書院
参考図書	基礎栄養学 (第3版) 坂井堅太郎 化学同人 応用栄養学 (改訂7版) 寺田和子 他 南山堂 超入門 生化学・栄養学 (看護学生超入門シリーズ) 穂苅 茂 他 照林社 シンプル生化学 (改訂第6版) 林 典夫、廣野治子 南江堂 日本人の食事摂取基準 (2015年版) 佐々木敏 菱田 明 第一出版
評価方法 (EV)	各講義担当者から提出された試験問題による平常試験を1回実施し、その成績により評価する。 1/5以上欠席した場合、評価点は0-60点とする。 なお、平常試験に対する再試験は行わない。
学生へのメッセージ オフィスアワー	2年次で学習した生化学および生理学の知識が必要になるので、復習してから講義に臨んで欲しい。 わからないことは放置せず、質問に来ること。(オフィスアワー 16:30-17:30, 各担当教員の医局にて)

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/09/18 (火) 1時限 09:00~10:30	五大栄養素の分類・構造・特徴	<p>【授業の一般目標】 基礎栄養学を理解するために五大栄養素の基本的な分類、構造および特徴を学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 三大栄養素と五大栄養素の違いを説明できる。</li> <li>2. タンパク質を構成するアミノ酸の構造、性状、および必須アミノ酸の意味を説明できる。</li> <li>3. 炭水化物を分類し具体的な種類を説明できる。</li> <li>4. 脂質の構造と脂肪酸の種類・特徴を説明できる。</li> <li>5. ビタミンの種類とその欠乏症を説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 食事の際に口にする食物を五大栄養素で分類してみる。 準備学修時間: 1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無 プリントを配布する。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	平塚 浩一 パワー ウジャール
2018/10/02 (火) 1時限 09:00~10:30	エネルギー代謝と消化酵素	<p>【授業の一般目標】 ATP産生を理解するために、五大栄養素の関わりとエネルギー代謝経路を学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 炭水化物の代謝経路を説明できる。</li> <li>2. <math>\beta</math>酸化を説明できる。</li> <li>3. アミノ酸の脱アミノ反応の意義を説明できる。</li> <li>4. 尿素経路を説明できる。</li> <li>5. アデノシン三リン酸がエネルギーになる理由を説明できる。</li> <li>6. 解糖系、TCA回路、電子 (水素) 伝達系、尿素回路の場所を説明できる。</li> <li>7. 三大栄養素が小腸から吸収されるまでの消化酵素を説明できる。</li> </ol> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 消化酵素の種類と基質および合成器官と分泌場所を調べておく。 準備学修時間: 1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p>	平塚 浩一 パワー ウジャール

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/10/02 (火) 1時限 09:00～10:30	エネルギー代謝と消化酵素	<p>アクティブラーニング：無 プリントを配布する。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 8 指導と管理 エ 栄養指導</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	平塚 浩一 バワール ウジャー
2018/10/09 (火) 1時限 09:00～10:30	糖代謝異常と脂質代謝異常	<p>【授業の一般目標】 糖代謝異常と脂質代謝異常の症状とメカニズムを理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 食品のエネルギーが計算できる。 2. 基礎代謝量に影響する要因を説明できる。 3. 糖代謝異常としての糖尿病を説明できる。 4. 脂質代謝異常の症状と原因を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 糖代謝と脂質代謝の経路を復習しておく。 準備学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 講義中に提示された問題を解き、解答を発表する。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 主要症候 1 全身の症候 ケ 内分泌系(代謝、栄養を含む)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (9) 内分泌系とホメオスタシス ①内分泌器官・組織の構造と機能及びホルモンの種類、作用と異常を説明できる。 C-2 生命の分子的基盤 C-2-1) 生命を構成する基本物質 ④生体のエネルギー産生と利用を説明できる。</p>	吉垣 純子
2018/10/16 (火) 1時限 09:00～10:30	ビタミンの役割と欠乏症	<p>【授業の一般目標】 ビタミンの人体における役割を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 人体におけるビタミンの役割を説明できる。 2. 脂溶性ビタミンと水溶性ビタミンを分けられる。 3. ビタミン欠乏による症状を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 酵素と補酵素の関係を調べておく。 準備学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 主要症候 1 全身の症候 ケ 内分泌系(代謝、栄養を含む)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 生命の分子的基盤 C-2-1) 生命を構成する基本物質 ⑤酵素の機能と主な代謝異常を説明できる。</p>	吉垣 純子
2018/10/23 (火) 1時限 09:00～10:30	成長発育と栄養 小児期の食育	<p>【授業の一般目標】 小児期の適切な栄養摂取を理解するために、乳児期の栄養と小児期の食育について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p>	清水 武彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/10/23 (火) 1時限 09:00～10:30	成長発育と栄養 小児期の食育	<p>1. 妊娠授乳期の栄養を説明できる。 2. 乳児期の栄養を説明できる。 3. 小児期の食育について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 小児の口腔科学第4版P26-31まで 成長発育と栄養 準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 スライド、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の発生・成長・発達・加齢 イ 人体の発育 a 発育区分（出生前期、新生児期、乳児期、幼児期、学童期、思春期）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 8 人体の成長・発達・加齢 イ 発育区分における成長・発達の評価 a 身体成長の評価法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ①乳歯と幼若永久歯の齲蝕の特徴と予防法を説明できる。</p>	清水 武彦
2018/10/30 (火) 1時限 09:00～10:30	小児齲蝕とシュガー コントロール	<p>【授業の一般目標】 小児期の齲蝕抑制を理解するために、齲蝕と砂糖摂取の関係について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 齲蝕と砂糖摂取の関係について説明できる。 2. 飲料による齲蝕を説明できる。 3. シュガーコントロールについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 小児の口腔科学第4版 9章齲蝕と予防 小児齲蝕とシュガーコントロール 準備学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 スライド、プリント配布</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 エ 小児の歯の硬組織 疾患 c 齲蝕のリスクファクター</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 ⑤歯科疾患のリスク因子を説明できる。 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-2) 小児の歯科治療 ①乳歯と幼若永久歯の齲蝕の特徴と予防法を説明できる。</p>	清水 邦彦
2018/11/06 (火) 1時限 09:00～10:30	歯科矯正と食育	<p>【授業の一般目標】 子供たちの口腔機能の向上が不正咬合予防に役立つことを理解するために、口腔機能と口腔形態との関わりを理解し、子供たちの口腔の健康に関心を高める。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 正しく噛むことの重要性について説明できる。 2. 顎骨・歯列形態の成長変化について概説できる。 3. 食生活の変化について説明できる。 4. 現代の子供たちの歯並びの問題点を列挙できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 咀嚼筋群の名称、起始、停止、ならびに顎運動との関係について予習してください。 準備学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 team based Learning（グループ学修）を一部取り入れる。</p>	葛西 一貴

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/11/06 (火) 1時限 09:00～10:30	歯科矯正と食育	<p>プリント</p> <p>【学修方略 (L S)】 その他</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の発生・成長・発達・加齢 ウ 口腔・顎顔面の成長・発育 b 上顎骨・下顎骨の成長の特徴 (成長の時期、骨形成様式)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 9 口腔・顎顔面の発生・成長・発育 エ 頭部の成長・発育 b 歯列、咬合</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-4 矯正歯科・小児歯科治療 E-4-1) 不正咬合の治療 ②正常咬合の概念と成立・保持条件を説明できる。</p>	葛西 一貴
2018/11/13 (火) 1時限 09:00～10:30	障害児者の栄養管理	<p>【授業の一般目標】 障害児者のQOLの維持・向上させるための栄養管理を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 障害者と健常者の食事摂取基準の違いを説明できる。 2. 経管栄養と経腸栄養剤について説明できる。 3. 障害と摂食嚥下機能の関連を説明できる。 4. 栄養管理における多職種連携の重要性を説明できる。 5. サルコペニアについて説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 年齢別のエネルギー必要量を理解する。 準備学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 12 治療の基礎・基本手技 シ 口腔機能のリハビリテーション b 口腔機能管理</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 8 国民栄養と食生活・食育指導 イ 食育と口腔保健 c 食の機能と口腔保健 総論Ⅴ 診察 3 障害者への対応 カ 健康支援、患者管理 5 高齢者への対応 ウ 栄養評価 b 栄養支援チーム&lt;NST&gt;</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅴ 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 6 摂食嚥下障害への対応 (摂食機能療法) オ 栄養療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-5 高齢者、障害者、精神・心身医学的疾患 E-5-1) 高齢者の歯科治療 ⑨摂食嚥下リハビリテーションを説明できる。 ⑩栄養管理や食形態の調整を説明できる。 E-5-2) 障害者の歯科治療 ⑥発達期の摂食嚥下障害のリハビリテーションを説明できる。</p>	野本 たかと
2018/11/20 (火) 1時限 09:00～10:30	義歯装着者の食の摂取と栄養	<p>【授業の一般目標】 高齢義歯装着者の食の自立や支援ができるために、義歯装着者の食摂取および心理的背景に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 果物および野菜の必要摂取量を説明できる。 2. 果物と野菜の全身への影響を説明できる。 3. 義歯装着者の食事摂取の特徴を説明できる。 4. 義歯装着者の食事摂取に影響する因子を列挙できる。 5. 関連する文献を吟味できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 Awad MA, Morais JA, Wollin S, Khalil A, Gray-Donald K, Feine JS. Implant overdentures and nutrition: a randomized controlled trial. J Dent Res.</p>	河相 安彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/11/20 (火) 1時限 09:00～10:30	義歯装着者の食の 摂取と栄養	<p>2012 Jan;91(1):39-46. doi: 10.1177/0022034511423396 をダウンロードして通読すること。授業中にグループワークでまとめを行います。 準備学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 メディア・文献による事前学習。反転授業：グループワーク</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 2 診察、検査、診断 イ 検査と評価 e 栄養評価</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅴ 診察 5 高齢者への対応 ウ 栄養評価 a 栄養アセスメント 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 8 指導と管理 エ 栄養指導 各論Ⅴ 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 3 高齢者等に関連した臨床評価・診断・治療計画 ア 全身状態の評価 e 栄養 4 高齢者等に関連した予防と管理 イ フレイル予防のための歯科保健管理 c 栄養管理</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-5 高齢者、障害者、精神・心身医学的疾患 E-5-1) 高齢者の歯科治療 ⑩栄養管理や食形態の調整を説明できる。</p>	河相 安彦
2018/11/27 (火) 1時限 09:00～10:30	義歯装着者の食の 摂取と栄養	<p>【授業の一般目標】 高齢義歯装着者の食の自立や支援ができるために、義歯装着者の食摂取および 心理的背景に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 無歯顎者の食の傾向について説明で知る。 2. 加齢に伴う唾液の変化について説明できる。 3. 高齢者の味覚について説明できる。 4. 義歯装着者の栄養障害に着いて述べるができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 無歯顎補綴治療学p36～37, 80～81 準備学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 8 国民栄養と食生活・食育指導 ア 国民栄養と食品保健 a 国民栄養の現状</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 8 国民栄養と食生活・食育指導 ア 国民栄養と食品保健 b 食事摂取基準 c 食生活指針</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 ③栄養と食育を説明できる。</p>	郡司 敦子 河相 安彦
2018/12/04 (火) 1時限 09:00～10:30	入院患者の栄養補 助	<p>【授業の一般目標】 入院患者、周術期患者の栄養補助の必要性、栄養補助の理論と実際を説明でき る。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 入院患者、周術期患者の栄養補助の必要性を説明できる 2. 患者の栄養状態の評価法が説明できる</p>	牧山 康秀

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/12/04 (火) 1時限 09:00～10:30	入院患者の栄養補助	<p>3. 補助栄養の組成を説明できる 4. 栄養補助の方法が選択できる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 一日の必要栄養について説明できる 準備学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健・医療と健康増進 8 国民栄養と食生活・食育指導 ア 国民栄養と食品保健 b 食事摂取基準</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 8 指導と管理 エ 栄養指導</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ③病歴聴取（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴等）を説明できる。</p>	牧山 康秀
2018/12/11 (火) 1時限 09:00～10:30	歯科における栄養管理方法 口腔外科手術の術後栄養管理 口腔癌患者の栄養管理 歯性感染症患者の栄養管理	<p>【授業の一般目標】 口腔外科的疾患に対する治療前後の栄養管理を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯科における栄養管理法について理解できる。 2. 口腔外科手術の術後栄養管理について説明できる。 3. 口腔癌患者の栄養管理について理解できる。 4. 歯性感染症患者の栄養管理について理解できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 経管栄養食の組成や特徴を理解する。 準備学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 9 その他の治療法 ク 食事・栄養療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-6 医師と連携するために必要な医学的知識 ②医科疾患合併患者の歯科治療時の注意点を説明できる。</p>	高橋 康輔
2018/12/18 (火) 1時限 09:00～10:30	歯科における栄養管理方法 口腔外科手術の術後栄養管理 口腔癌患者の栄養管理 歯性感染症患者の栄養管理	<p>【授業の一般目標】 口腔外科的疾患に対する治療前後の栄養管理を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯科における栄養管理について説明できる。 2. 口腔外科手術の術後栄養管理について説明できる。 3. 口腔癌患者の栄養管理について説明できる。 4. 歯性感染症患者の栄養管理について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 経鼻栄養管挿入の手技、注意事項を理解する。 準備学修時間：1時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 9 その他の治療法 ケ 輸液・輸血療法</p>	高橋 康輔

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/12/18 (火) 1時限 09:00～10:30	歯科における栄養管理方法 口腔外科手術の術後栄養管理 口腔癌患者の栄養管理 歯性感染症患者の栄養管理	【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-6 医師と連携するために必要な医学的知識 ② 歯科疾患合併患者の歯科治療時の注意点を説明できる。	高橋 康輔
2019/01/15 (火) 1時限 09:00～10:30	生活習慣病 肥満 栄養バランス 食事指導	【授業の一般目標】 生活習慣病について理解する。 肥満について理解する。 日本人の食事内容の変遷について理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 食事内容の変化と生活習慣病の関連を説明できる。 2. 体重と疾患の関係を説明できる。 3. 適切な食事指導ができる。  【準備学修項目と準備学修時間】 生活習慣病について説明できる。 肥満について説明できる。 日本人の食事内容の変遷について説明できる。 準備学修時間：30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 301教室  【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 4 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 e メタボリックシンドローム  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論 I 保健・医療と健康増進 8 国民栄養と食生活・食育指導 ア 国民栄養と食品保健 a 国民栄養の現状 b 食事摂取基準 c 食生活指針 総論 V 診察 6 全身疾患を有する者への対応 ア 留意すべき疾患 h 内分泌・代謝疾患 歯科医学各論 各論 V 高齢者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療 1 高齢者等の歯科診療で注意すべき疾患・病態・症候 オ フレイル 3 高齢者等に関連した臨床評価・診断・治療計画 ア 全身状態の評価 e 栄養  【コアカリキュラム】	坂巻 達夫
2019/01/22 (火) 1時限 09:00～10:30	食事、栄養と生活習慣病、歯周病と全身疾患	【授業の一般目標】 歯周病と生活習慣病、全身疾患の関係について理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周病と全身疾患の関係について学ぶ 2. 糖尿病と歯周病の関係について学ぶ 3. 栄養と生活習慣病について理解する  【準備学修項目と準備学修時間】 臨床歯周病学 (第2版) 医歯薬出版 第20章ペリオドンタルメディシンの内容を予習する。 準備学習時間：1時間  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 板書およびパワーポイント  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 301教室  【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論 III 病因、病態 1 病因、病態 カ 感染症 c 感染症  【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論 II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ア 歯周疾患の病因と病態	小方 頼昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/01/22 (火) 1時限 09:00～10:30	食事、栄養と生活習慣病、歯周病と全身疾患	j 歯周疾患と健康の関わり 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。	小方 頼昌
2019/01/29 (火) 1時限 09:00～10:30	平常試験と解説	【授業の一般目標】 栄養学の授業内容をまとめ、理解する。  【行動目標 (SBOs)】 1. 適切な食事指導を実施できる。 2. ライフステージに合わせた食育を説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】 今まで受けた栄養学の授業内容をまとめる。 準備学修時間：3時間  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無  【学修方略 (LS)】 講義  【場所 (教室/実習室)】 301教室	平塚 浩一 バワール ウジャー 吉垣 純子 清水 武彦 清水 邦彦 葛西 一貴 野本 たかと 河相 安彦 郡司 敦子 牧山 康秀 坂巻 達夫 小方 頼昌 高橋 康輔